

# 「社会と科学技術イノベーションとの関係深化に関わる推進方策」概要

## ～共創的科学技術イノベーションに向けて～

資料 4-1  
科学技術・学術審議会  
研究計画・評価分科会  
(第54回) H27.8.24

### 《豊かさと安寧を皆が実感できる安全な社会を実現するためには》

- ・ 科学技術における新たな知識の創出と社会における有益なイノベーションの創出が必要
- ・ 新しい分野の科学技術を社会が受け入れる際に、ELSIを始めとする様々な課題が存在
- ・ 現下の国民生活が直面している、地球規模問題、災害、犯罪など、政策的対応が必要な課題が存在

#### 基本的な考え方

多様なステークホルダーによる対話・協働を始め、様々な活動をさらなる研究・イノベーションや政策形成に結びつけ、社会の課題の解決につなげる **共創的科学技術イノベーション** を実現していく。

##### 「共創的科学技術イノベーション」の定義

科学技術イノベーションが生み出す成果が、経済社会に発展の原動力をもたらすのと同時に、社会・人間にとって安全性、持続可能性等において望ましいものとなるように、多様なステークホルダーの間で意見やアイデアなどを交換し、互いの期待や懸念に応え合う共創を基盤にした知識創造とそのガバナンスのプロセス

#### 基本的な視座

##### ◆ エコシステムの醸成

・ 個々のグループ・機関が行う科学技術イノベーション活動がより広く、かつ持続的に行われるため、外部からリソースの調達や、外部との協働など、人・組織・設備等の要素が有機的に結びついた環境の充実。

##### ◆ オープン化の推進

・ ステークホルダーの多様性の拡大、オープンサイエンスなどのオープン化の推進により、専門家が持ちえない知識や観点の活用による課題解決や科学技術リテラシー、社会リテラシーの向上。

##### ◆ 政策形成や知識創造への接続

・ 政策形成や知識創造がより望ましいかたちで行われるため、それらのプロセスのなかに科学技術がもたらす恩恵と問題を判断する材料を示すTAやELSIの活動を接続。

#### 今後の社会と科学技術イノベーションとの関係深化に関わる推進方策

##### 1. 多様なステークホルダーが相互に応答し合うためのプラットフォームの強化

- ・ 対話支援の組織的な機能の充実
- ・ ELSI研究等の推進のための組織的な機能の充実
- ・ 対話の場としての科学館などの社会教育施設における対話ネットワークの構築
- ・ 科学技術コミュニケーター等の人材養成及び確保

##### 2. 社会のステークホルダーと科学技術イノベーションとの関わりの強化

- ・ 科学館などの社会教育施設における科学技術コミュニケーションの推進
- ・ 市民の科学技術リテラシーの向上に向けた取組
- ・ 市民の科学技術活動への参画促進

##### 3. 科学者・技術者と科学技術イノベーションとの関わりの強化

- ・ 社会リテラシーの向上による科学技術コミュニケーション能力の涵養
- ・ 人文学・社会科学・自然科学の連携によるELSI研究等と自然科学系研究開発の連結の推進
- ・ 共創的科学技術イノベーションにかかる研究及び実践の推進
- ・ 研究内容や成果について国民と対話を行う(アウトリーチ)活動の推進
- ・ オープンサイエンスの推進

